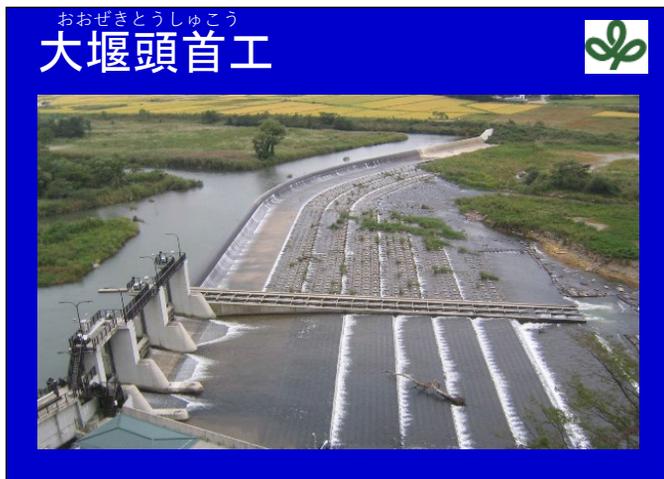


おおぜきとうしゅこう 大堰頭首工



大堰頭首工概要
 所在地：宮城県大崎市岩出山
 河川名：一級河川江合川
 形式：フィックスドタイプ
 規格：堰高H=2.60m／堰全長L=268.4m
 天正19年(1591年)に伊達政宗公が築城の際に江合川を堰き止め、その水を城の内堀に引き、防御水として使用し、併せてかんがい用水として使用したのが始まり。H15年度～H17年度の国営かんがい排水事業により固定堰本体・堰柱部の補修、ゲート設備の更新が行われた。約3,300haの農地を潤している。H29認定の世界農業遺産「大崎耕土」における巧みな水管理施設。

【可動堰】 L=31.2m
 取水時はゲートを下げて水を堰き止め、非取水時にはゲートを上げて水を流す。

【固定堰】 L=237.2m

【魚道】堰を魚類が支障なく遡上できるように整備した水路。

パーティカルスロット型：大型魚の遡上を想定。

ノルウェー型：泳力の弱い魚類の遡上を想定。



大堰頭首工周辺のマップ



< 岩出山はこんなところ >
 伊達政宗公が青年時代に城を構え、城の外堀と農業用水路を兼ねていた世界かんがい遺産「内川」や、伊達家の学問所だった「有備館」などの歴史的遺産が残っているほか、「岩出山凍り豆腐」という伝統食材も作られています。

